

中学生にすすめる50冊



鹿児島市立図書館

Kagoshima City Library





鹿児島市立図書館では、「中学生のみなさんにもっと読書に親しんでほしい」という願いを込め、鹿児島市内の中学校の先生や学校図書館司書と協力して「中学生にすすめる50冊」を作成しました。



中学生の今だからこそ、心の底から楽しめる本があるかもしれません。また、本をとおして、自分と同じようなことを考えたり、悩んだりしている主人公に出会えるかもしれません。

おもしろい本に一冊でも出会えると、不思議なほどもっと本を読みたいと思えるようになるものです。中学生のみなさんが読むのにぴったりの50冊を選んでいきます。お気に入りの本に出会うためのきっかけにしてください。

【図書館ホームページ QRコード】

鹿児島市立図書館の最新情報を知りたいときや蔵書検索を行いたいときなどは、図書館ホームページをご利用ください。



中学生にすすめる 50 冊 ★は中学生に人気の本

番号	書名	作者	出版社
1	成瀬は天下を取りに行く	宮島未奈／著	新潮社
2	13歳からの地政学 カイゾクとの地球儀航海	田中孝幸／著	東洋経済新報社
3	27000冊ガーデン	大崎梢／著	双葉社
4	スクラッチ	歌代朔／著	あかね書房
5	みんなで描こう！黒板アート	すずきらな／著 子供の科学編集部／編	誠文堂新光社
6	31センチの約束	嘉悦洋／著 ながん／絵	西日本新聞社
7	約束の猫	村山早紀+げみ／著	立東舎
8	地球へのピクニック	谷川俊太郎／詩 長新太／絵	銀の鈴社
9	かごしま維新伝心	岩川拓夫／著 東雲ののか／絵	南方新社
10	あの花が咲く丘で、 君とまた出会えたら。 ★	汐見夏衛／著	スターツ出版 文庫
11	朔と新	いとうみく／著	講談社
12	空を見上げてわかること 身近だけど知らない気象予報士	斉田季実治／著	PHP研究所
13	舟を編む	三浦しをん／著	光文社
14	うたうとは 小さいのち ひろいあげ	村上しいこ／著	講談社
15	線は、僕を描く	砥上裕将／著	講談社
16	その気持ち、なんて言う？ —プロに学ぶ感情の伝え方	NHK「言葉にできない、 そんな夜。」制作班／著	祥伝社
17	二番目の悪者	林木林／作 庄野ナホコ／絵	小さい書房
18	太陽はひとりぼっち	鈴木るりか／著	小学館
19	本好きの下剋上 ★	香月美夜／著	TOブックス
20	人生に迷ったら知覧に行け 流されずに生きる勇気と覚悟	永松茂久／著	きずな出版
21	ラーゲリより愛を込めて	辺見じゅん／原作 林民夫／映画脚本	文藝春秋
22	ライオンのおやつ	小川糸／著	ポプラ社
23	医学のたまご	海堂尊／著	理論社
24	奇跡のバックホーム	横田慎太郎／著	幻冬舎
25	続 窓ぎわのトットちゃん	黒柳徹子／著	講談社

番号	書名	作者	出版社
26	ぼくたちはまだ出逢っていない	八束澄子／著	ポプラ社
27	これから大人になる君たちへ 学校では教えてくれない未来を生き抜くヒント	池上彰／著	KADOKAWA
28	ぼくらは星を見つけた	戸森しるこ／著	講談社
29	パンに書かれた言葉	朽木祥／著	小学館
30	いろいろ	上白石萌音／著	NHK出版
31	リカバリー・カバヒコ	青山美智子／著	光文社
32	バッタを倒しにアフリカへ	前野ウルド浩太郎／著	光文社
33	名前のないことば辞典	出口かずみ／著	遊泳舎
34	アーモンド	ソン・ウォンピョン／著 矢島暁子／訳	祥伝社
35	カメの甲羅はあばら骨 ～人体で表す動物図鑑～	川崎 悟司／著	S B クリエイ ティブ
36	未来をつくるあなたへ	中満泉／著	岩波書店
37	むこう岸	安田夏菜／著	講談社
38	さみしい夜にはパンを持って	古賀史健／著 ならの／絵	ポプラ社
39	考え方ひとつで人生は変わる	稲盛和夫／著	PHP研究所
40	美術の進路相談 絵の仕事をするために、描き続ける方法	イトウ ハジメ／著	ポプラ社
41	ひとりひとりのやさしさ	ジャクリーン・ウッドソン／文 E・B・ルイス／絵 さくまゆみこ／訳	B L 出版
42	マスク越しのおはよう	山本悦子／著	講談社
43	だれよりも速く走る 義足の研究	遠藤謙／著	偕成社
44	きみの話を聞かせてくれよ	村上雅郁／著 カシワイ／絵	フレーベル館
45	もうひとつの屋久島から 世界遺産の森が伝えたいこと	武田 剛／著	フレーベル館
46	ラストで君は「まさか！」と言う シリーズ ★	PHP研究所／編	PHP研究所
47	タガヤセ！日本「農水省の白石さん」 が農業の魅力教えます	白石優生／著	河出書房新社
48	山月記 乙女の本棚シリーズ	中島敦／著 ねこ助／イラスト	講談社
49	栗山ノート2 世界一への軌跡	栗山英樹／著	光文社
50	宙わたる教室	伊与原新／著	文藝春秋

1	<h1>成瀬は 天下を取りに行く</h1>	
	<p>宮島未奈／著</p>	
	<p>新潮社</p>	

「この夏を西武に捧げようと思う」

中2の1学期末に成瀬^{なるせ}がまた変なことを言い出した。1か月後に閉店する西武大津店から生中継されるテレビ番組に毎日映るというのだ。とにかく成瀬の言うことはスケールが大きい。小学校の卒業文集『将来の夢』は、「200歳まで生きる」だった。

数々の変なプロジェクトや独特な恋愛観で、とても面白くて魅力あふれる成瀬が愛おしくなる。

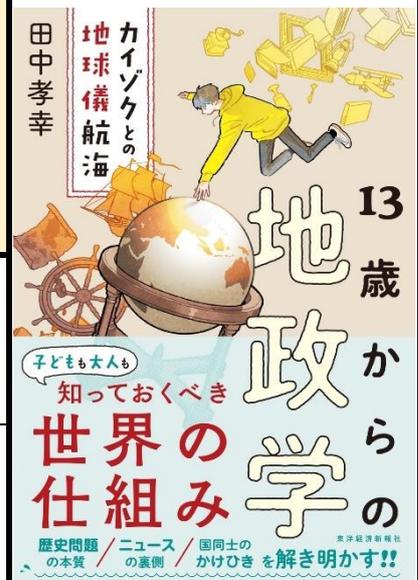
君も成瀬あかり史を見届けよう。

2

13歳からの地政学 カイゾクとの地球儀航海

田中孝幸／著

東洋経済新報社



高1の^{だい}大樹は、商店街のアンティークショップのウィンドウに飾られてある年代物の地球儀に目を奪われた。それがこの店の主人「カイゾク」との出会いだった。

地球儀からわかる世界の物流、海を支配したがる国々、国際政治と地形、宇宙から見た地球など、大樹と「カイゾク」との会話を通じて、歴史や現代社会を解説する。

地政学への扉を開ける一冊。中学生にはもちろん、大人にも読み応えあり。

3

27000冊ガーデン

大崎梢／著

双葉社



この本は高校の学校図書館を舞台に、図書館や本にまつわる謎を主人公の学校司書と出入りの書店員が解いていく、心温まるミステリーです。

実在の本もたくさん登場します。

ミステリーでもありますが、何よりお仕事小説としても楽しめます。学校司書の仕事内容をしっかりリサーチして書かれているので、「学校司書の仕事って？」そう思ったらぜひ読んで欲しい一冊です。

特に、3話目『せいしよる せいしよられる』に登場する秋坂高校徳島先生の「本好きの生徒を守ると、増やすのが、学校司書の務め」という言葉に、私はとても共感しました。ふだん思っていることが文章になると嬉しいものです。

4	スクラッチ	
	歌代朔／著	
	あかね書房	
<p>コロナ禍で「総体」が中止になったバレー部キャプテンの鈴音。美術部部長の千暁は出展する予定の「市郡展」も審査が中止。それでも「平常心」と心に言い聞かせ、出展作を描きつづける千暁のキャンバスに、鈴音が不注意から墨を飛ばしてしまいます。</p> <p>性格が正反対の二人が、コロナ禍によって引き起こされる様々な出来事にとまどいながらも、自分らしい在り方を探し求める物語です。</p> <p>どんな時も前を向いて進もうと思える一冊です。</p>		

5	<h1>みんなで描こう！ 黒板アート</h1>	
<p>すずきらな／著 子供の科学編集部／編</p>		
<p>誠文堂新光社</p>		

皆さん、普段過ごしている教室に必ずあるものは何でしょうか？机？椅子？いろいろありますが、“黒板”も必ずありますよね。

この本は、学校にあるチョークや黒板消しなどを使って、簡単に楽しく描く“黒板アート”を紹介しています。

卒業式や文化祭などで感謝や^{ねぎら}労い、応援する気持ちを伝えてみませんか。また、学校生活で感じる様々な思いを描いてみませんか。

思いを伝えるのに、黒板は身近な表現方法のひとつだと、この本が教えてくれます。

6

31センチの約束

嘉悦洋／著 ながん／絵

西日本新聞社



「ヘアドネーション」を知っていますか？伸ばした髪の毛を医療用ウィッグ（かつら）の素材として寄付するボランティア活動のひとつです。

バレーボールチームに入っている小学4年生のサラ。突然、同じチームの友だち・ゆいが白血病になり、治療のために美しい髪を失います。

サラは髪を伸ばし、ゆいにウィッグを作ってプレゼントしようと決めます。でも、チームには「髪はショートカット」という伝統があり……。

友だちのために何ができるか考え、行動する姿に心を打たれる物語です。

7	<h1 style="text-align: center;">約束の猫</h1>	
	<p style="text-align: center;">村山早紀+げみ／著</p>	
	<p style="text-align: center;">立東舎</p>	
<p>村山早紀さんの描き下ろし作品を含む4つの短編に、げみさんの優しいイラストが寄り添っている素敵な本です。</p> <p>1話目の『七日間のスノウ』を読んで、主人公の気持ちにうなづくことがあるかもしれません。3話目の『春の約束』を読んで、どこかなつかしくなるかもしれません。</p> <p>どの話にも“猫”が登場し、人間のそばにいて愛してくれます。</p> <p>心がちょっと疲れたとき、優しくなりたいたいとき、気持ちを落ち着かせたいときに読んでみてください。読み終わったあと、ちょっと切なく、でも心温まるような話ばかりです。</p>		

8

地球へのピクニック

谷川俊太郎／詩
長新太／絵

銀の鈴社



ジュニアポエムシリーズ 14「地球へのピクニック」は、谷川俊太郎の詩集を集めた 1 冊です。48 の詩集が掲載されています。

「ネロー愛された小さな犬に」では、愛犬のネロに寄せたあふれる思い出を語っている詩です。過去を懐かしく思い出しながらも「すべての新しいことを知るために」新たな季節を期待しながら生き抜こうとする感じが感じ取れる詩です。

「朝のリレー」では、地球のどこかで朝が始まっている様子をうたっています。今この瞬間も地球を守るためのバトンがつながれているのです。

「生きる」では、普段気にもとめないようなことを表現しながら、人は自然の恩恵を受け、互いに愛され支えられることで生きているのだということを深く理解させてくれる詩です。

9

かごしま維新伝心

岩川拓夫／著
東雲ののか／絵

南方新社



郷土の有名人といえば「^{さいごうたかもり}西郷隆盛」「^{ごだいともあつ}五代友厚」
だけではありません。

維新という激動の時代を生きた郷土の先人を知ることは、中学生のこれからに必ず生きてくることでしょう。

薩摩英国留学生の最年少の13歳「^{ながさわかなえ}長澤鼎」、
種子島の女領主「^{しょうじゅいん}松寿院」、和英辞書を刊行し勉
学に燃えた「^{まえだまさな}前田正名」、君が代にも関わった薩
摩藩のバンドメンバー「^{なかむらすけつね}中村祐庸」。

温故知新、未来へ向かう中学生にこそふさわしい一冊です。

10

あの花が咲く丘で、 君とまた 出会えたら。

汐見夏衛／著

スターツ出版文庫



中学2年生の百合は、ひよんなことから70年前の日本にタイムスリップしてしまう。そこで出会った青年彰とお互い惹かれあっていくのだが……。

出会いが1945年終戦間近であったことから、運命は望まぬ方向へと進んでいく。

百合と彰の姿を通して、皆さんは戦争の悲惨さや不条理さを知るでしょう。

この本を読むことで、平和について「考え」「学ぶ」きっかけになればうれしいです。

11	朔と新	
	いとうみく／著	
	講談社	

昨日まで見えていたはずの目が、ある日突然見えなくなったら……その原因が弟にあったとしたら。

どこにでもいる兄弟、兄の「朔」は、年末の帰省中に高速バスの事故で失明してしまいます。弟「新」は、帰省の日程を遅らせたことによって起きた事故に自分を責めます。そして大好きだった陸上競技をやめてしまいます。それを知った朔は、ブラインドマラソン(視覚に障害のある人が走ることに挑戦。そして、伴走者を弟の新に頼むのでした。

「不安・憎しみ・葛藤・後悔・絆・信頼・生きる希望」すべてを網羅した物語です。

12	<p style="text-align: center;">空を見上げて わかること 身近だけど知らない気象予報士</p>	 <p style="text-align: center;">天気も人も「今」の先に「未来」がある 朝ドラで気象考証を担当した 斉田季実治が今、伝えたいこと</p> <p>★気象予報士の仕事内容 ★身を守るための気象情報 などを、わかりやすく解説!</p> <p>PHP研究所 定価1,430円(10%税込)</p>
<p style="text-align: center;">斉田季実治／著</p>		
<p style="text-align: center;">PHP研究所</p>		
<p>刻一刻と変わる天気を予報する気象予報士。 この本は、「天気も人も『今』の先に未来がある」という現役の気象キャスターが書いたものです。</p> <p>気象予報士という仕事の内容や、知っておくと空の見え方が変わる簡単な虹の見つけ方、さらに中高生でも知っておきたい自分や大切な人を守るための気象情報、最新の宇宙天気についてなど分かりやすく解説しています。</p> <p>読んだ後、今よりもっと天気を身近に感じられるような一冊です。</p>		

13	舟を編む	
三浦しをん／著		
光文社		
<p>右を説明してください」と質問されたら何と答えますか？「え？右は右でしょ？」と思ったあなた、この本を手にとってみましょう。これは、「言葉」とその意味に頭を悩ませ、敬意と情熱を注いで、辞書を編纂(へんさん)する人たちの物語。2013年には映画化、2016年にはテレビアニメ化、2024年にはテレビドラマ化されたのですが、言葉にこだわる人たちの物語ですから、言葉を通して読むことをおすすめします。</p> <p>文体も読みやすく、年代を問わず長く愛されている一冊です。</p>		

14	<p style="text-align: center;">うたうとは 小さいのち ひろいあげ</p>	
<p style="text-align: center;">村上しいこ／著</p>		
<p style="text-align: center;">講談社</p>		
<p>「短歌って心の格闘技かもしれない」 人数不足の「うた部」という短歌同好会に思いがけず入部した高校1年生の桃子。タイトルは、主人公が短歌甲子園県予選で詠んだ連句の上の句。高校生が詠む瑞々しい短歌が、個性豊かで魅力的。31文字に表現する短歌の面白さや言葉の美しさが光る。</p> <p>悩みを抱えながらも、短歌を通して自分と向き合い、成長していく青春物語。この本は3部作の第1作目で、桃子も1学年ずつ年を重ねて物語は続く。</p>		

15	線は、僕を描く	
砥上裕将／著		
講談社		
<p>2年前に家族を交通事故で失い、真っ白い悲しみの中にいた大学生の青山^{そうすけ}霜介はアルバイト先で水墨画と運命的な出会いをする。はじめての水墨画に戸惑いながらも魅了されていく霜介は、線を描くことで回復していく。青春×芸術小説。</p> <p>水墨画の描写の美しさも魅力の1つで、本の向こうに水墨画の世界が広がっていくような感動があります。</p> <p>美術に興味がある人にはもちろん、進路に悩む中学生の背中を、そっと押してくれるような作品です。</p>		

16

その気持ち、
なんて言う？
—プロに学ぶ感情の伝え方

NHK「言葉にできない、
そんな夜。」制作班／著

祥伝社



私たちは、日々様々な感情と共に生活しています。昨今のSNS時代、今のこの感情を相手に伝えるとき、うまく伝えられているだろうか……。この言い回しで大丈夫だろうか……。等々思い悩むことも多々あると思います。

迷ったときにこの一冊！作家さんや音楽クリエイター、お笑い芸人など、言葉のプロの方々が書いたいろいろな場面での感情表現が満載です。まさに“言葉の泉”。

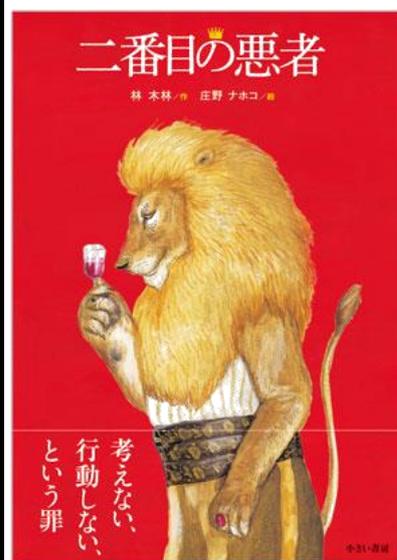
ただただ読み流すだけでも、得する一冊だと確信しています。ぜひご一読を。

17

二番目の悪者

林木林／作
庄野ナホコ／絵

小さい書房



「金のたてがみで生まれた私こそ、天に選ばれしものなのだ」

金色のたてがみを持つライオンは、一国の王になりたかった。自分こそが王にふさわしいと思う、野心家でした。ところが、町はずれに住む誰にでも優しく、面倒見のいい銀のライオンが「次の王様候補」と、あちこちで噂されます。ある日、金のライオンは絶対許されない、とんでもないことを始めます。

さて、みなさんは18歳から成人とみなされ、選挙権も与えられます。早い人で、3年後には大人の仲間入りです。

メディアやSNSなど情報過多の現代社会において、「何が本当なのか」自分で確かめる力、そして、噂に流されず翻弄されない賢さが自分自身を守るのです。

「二番目の悪者」とは？本当の主人公は誰なのでしょう？

18

太陽はひとりぼっち

鈴木るりか／著

小学館



裕福ではないけれど母と子ふたり、笑い合いながらたくましく生きる花実親子と、ふたりをめぐる人々との三つの短編集です。

死んだと聞かされていた花実のおばあさんが現れ、ふたりの間で心ゆれる花実。中学受験に落ちてカトリックスクールの寮に入れられた三上君のことや行方知れずの兄を思う木戸先生の心の痛みなど、人はそれぞれの事情を抱えながら生きている。

太陽はひとりぼっちだけど、その光は美しく温かく、そして力強い。生きるってどんなことなのか、考えさせられる本です。

19

本好きの下剋上

香月美夜／著

TOブックス



みなさんは「本」がない、あっても高価すぎて手に入らない世界に身をおかねばならなくなったらどうしますか？なかには、ラッキーと思う人もいるかな？

この物語の主人公「本須麗乃」は、本を愛してやまない女子大学生です。努力して念願の図書館司書として就職が決まったある日、事故で亡くなってしまいます。

しかし、目覚めるとなんと病弱な5歳の少女「マイン」として、異世界へ転生してしまいました。現実がのみ込めず、混乱するマインこと麗乃。大好きな本さえあればと本を探しますが手に入りません。「本がなければ作ればいいじゃない！」と麗乃だったころの知識を駆使して周りの人々を巻き込みながら、マインとして異世界で活躍する物語です。

20	<p style="text-align: center;">人生に迷ったら 知覧に行け 流されずに生きる勇気と覚悟</p>	
永松茂久／著		<p>先が見えなくなつたとき 壁にぶつかったとき</p> <p>この場所が、 あなたの道を 照らしてくれる</p> <p>かつて愛する人を守るために 死んでいった若者たちが、 特攻隊が飛び込んだ場所、 鹿児島・知覧が教えてくれたこと</p> <p style="text-align: right;">きずな出版 定価(本体1400円+税)</p>
きずな出版		
<p>鹿児島に住む人なら、見聞きしたことや実際に訪れたことがある人が多いであろう『知覧』。祖父がいつも言っていた「人生に迷ったら知覧に行け」という言葉を思い出し、知覧を訪れた著者が見たのは、数えきれないほどの特攻隊員の遺書でした。</p> <p>大切な家族やふるさと、そして日本を守るために散っていった若者たちの姿を通して、「ところであなたはどう生きる？」と問いかける一冊です。</p>		

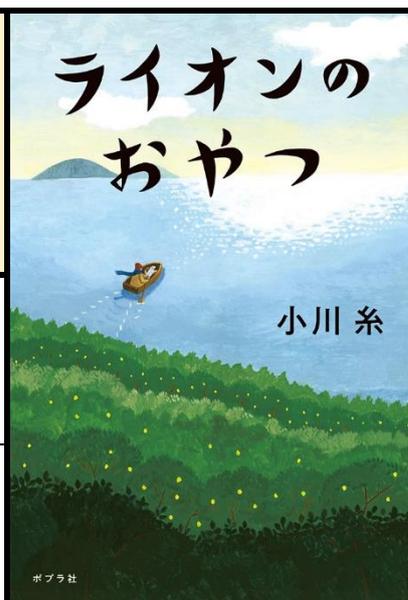
21	<h1 style="text-align: center;">ラーゲリより 愛を込めて</h1>	
	<p style="text-align: center;">辺見じゅん／原作 林民夫／映画脚本</p>	
	<p style="text-align: center;">文藝春秋</p>	
<p>第二次世界大戦で捕虜として劣悪な環境のシベリア強制収容所に抑留された山本。過酷でつらい状況でも、決して希望を捨てない彼の信念は人の心を揺さぶり、暗闇に光を照らします。</p> <p>それは時に痛々しく胸を締め付けます。けれども、逆境を生きる彼らはしなやかに強く、温かいのです。実在の人物がモデルの作品。</p> <p>心が震え、涙が溢れます。平和は尊い。</p> <p>無駄がないほどに我らは尊い……。</p> <p>(『Soranjī』 Mrs. GREEN APPLE) ※映画主題歌</p>		

22

ライオンのおやつ

小川糸／著

ポプラ社



舞台は美しい瀬戸内海を臨むホスピス（人生最後の時を穏やかに過ごすための施設）「ライオンの家」。ここでは、毎週月曜日に、入居者が最後にもう一度食べたいおやつをリクエストできます。

主人公「海野^{うみのしずく}雫」は末期がんで、前の入居者が残した犬の^{ろっか}六花、島で出会った人々と、残された日々を静かに大切に過ごします。

雫の選んだおやつには、どんな思い出があるのでしょうか。

何気ない日常の大切さ、限りある命の尊さが、胸に染み入る物語です。

23	医学のたまご	<p style="text-align: center;"><small>Doctor-to-be</small> 医学のたまご</p>  <p style="text-align: center;">海 堂 尊 <small>Kaidou Takeru</small></p> <p style="text-align: center;"><small>rironsha</small></p>
海堂尊／著		
理論社		

間違っただけをした時、自分を守りたくて「ごまかしてしまいたい」と思ったことはありませんか？

ごく普通の中学生、^{そねざきかおる}曾根崎 薫 14 歳。

彼は、あるテストをきっかけに「日本一の天才中学生」として大学病院で医学の研究をすることに。研究を進める過程で教授も驚く発見をしたことから薫の世界は一変する。

大学病院で起こる不正や隠ぺいに立ち向かいながら、医学研究の大切さを知っていく。

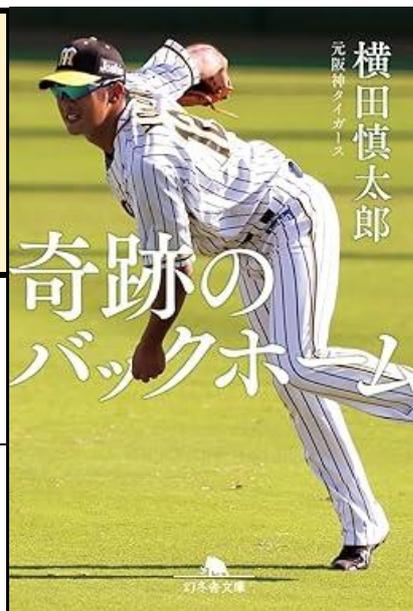
中学生の薫が周りの人や自分の心と向き合い、勇気を出して前に進んでいく物語です。

24

奇跡のバックホーム

横田慎太郎／著

幻冬舎



鹿児島県日置市育ちの著者である元阪神タイガースの横田慎太郎さんの野球人生が詰まった作品です。

プロ野球選手4年目で脳腫瘍と診断され、医師からは「野球のことは、いったん忘れてください」と告げられます。

手術にあたり「必ずもう一度野球ができるように、神経は傷一本つけないでください。」と訴え、二度の手術や家族なしでは耐えられなかった闘病生活も耐えぬきます。

ファンの応援に「絶対にもう一度プロ野球の世界にもどってやる」と心に決め、1096日ぶりの出場となった引退試合。後遺症で視力が回復しないなかノーバウンドでキャッチャーミットに届いたバックホームでタッチアウト。

「神様が背中を押してくれた」このバックホームの伝説を残し、阪神が18年ぶりの優勝を飾った2023年7月、横田さんは28歳という短い生涯を閉じました。

野球人生や病気との向き合い方、家族愛が感じられ、全ての人に勇気をくれる一冊です。

25

続 窓ぎわの トットちゃん

黒柳徹子／著

講談社



トットちゃんは、自由のない戦時中、想像力を持ち自分らしく生きます。そして戦後、彼女の個性と努力と少しの幸運で、人生は輝いていきますが、その中でも忘れず続けたこと。それは、対談の際、相手の方に必ず戦争体験の話を伺うことでした。

「新しい戦争が起こらないために自分ができること」を続けて約50年。戦争を知らない私たちは、「戦争の話」をただの物語として読むのではないと思います。

幸せな日々の前作もどうぞ。

26

ぼくたちは まだ出逢っていない

八束澄子／著

ポプラ社



京都を舞台に、伝統工芸の漆と金継ぎを通して、自分の居場所を探していく青春小説。

母の再婚で引っ越してきた美雨。イギリス人の父と日本人の母をもち、いじめに悩む陸。病気と闘っていた陸の良き理解者で友人の樹。この三人を繋ぐものは「金継ぎ」。

伝統を守り続ける人々との出会いや割れた茶碗が金継ぎで見事に美しく修復される様から、夢中になれるものを見出していきます。

読後、表紙に描かれたイラストの意味が分かりさらに感動します。

27	<p>これから大人になる 君たちへ</p> <p>学校では教えてくれない未来を生き抜くヒント</p>	
池上彰／著		
KADOKAWA		
<p>大人になるってどういうこと？</p> <p>成人年齢が18歳になった今、将来に向けてどんな準備が必要だろう。働き方や人間関係に関するアドバイスなど大人になるまでに知っておきたい世の中のしくみとルール、未来を生き抜くヒントを池上彰が分かりやすく解説します。</p> <p>いろいろな世界に興味の種をまいておくと、自分の世界を広げ、将来を豊かにしてくれます。</p> <p>どんな大人になれるかはあなた次第です。</p>		

28

ぼくらは 星を見つけた

戸森しるこ／著

講談社



丘の上にある青い屋根のお屋敷には白髪の女主人・そらさん、十歳の男の子・^{せい}星くん、ハウスキーパーのシドが住んでいます。ある日、住みこみの家庭教師を募集したところ、口ひげを
はやし、黒いシルクハットをかぶった^{みさき}岬くんがやってきました。四人での“家族”としての楽しく穏やかな生活が始まります。しかし、四人にはそれぞれ秘密があったのです……。

いわゆる“普通の家族”ではないけれど、後悔や悲しみを乗り越えてゆっくと本当の家族になっていく様子に胸が熱くなる物語です。

29

パンに書かれた言葉

朽木祥／著

小学館



広島出身の父と北イタリア出身の母の子エリーは、東日本大震災に遭う。混乱の中エリーは北イタリアに行き、祖母の家で文字が書かれたパンを見つける。

それは、祖母の兄の形見だった。そこで初めてエリーはナチスに追われたパルチザンの存在を知る。

帰国後、父方の祖父は自分の妹を原爆で失ったと語る。連日のように流れる原発事故関連のニュースに敏感な祖父の思い。

そしてエリーは人々の祈りがその名に込められていたことを知る。

30

いろいろ

上白石萌音／著

NHK出版



テレビで見ない日はないと言っていいくらい多方面で活躍されている上白石萌音さんのエッセイです。幼い頃から本が好きということもあり、表現力が豊かで、とても読みやすい文章でつづられています。仕事にまっすぐ向き合う萌音さん、悩む萌音さん、好きなことを語る萌音さん。まさに“いろいろ”な萌音さんを知ることができます。

最後の数ページは、地元鹿児島島のゆかりの地を巡ってつづられた「鹿児島小旅行レポート」が収録されていて、鹿児島への深い愛を感じます。読後は、萌音さんを応援したくなること間違いなし！

31

リカバリー・カバヒコ

青山美智子／著

光文社



団地に囲まれた小さな公園にある、カバのアニマルライド。いつの間にか「カバヒコ」と名付けられ、「怪我や病気など、自分の体の治したい部分を触ると、回復する」という噂まで流れています。人呼んで「リカバリー・カバヒコ」……カバだけに。

カバヒコは神様でも何でもないただの遊具なので、もちろんそんな力はないはずなのに、カバヒコをなでた人たちはみんな、心身の傷が癒えていきます。

身近な人の大切さに気付かせてくれる物語です。

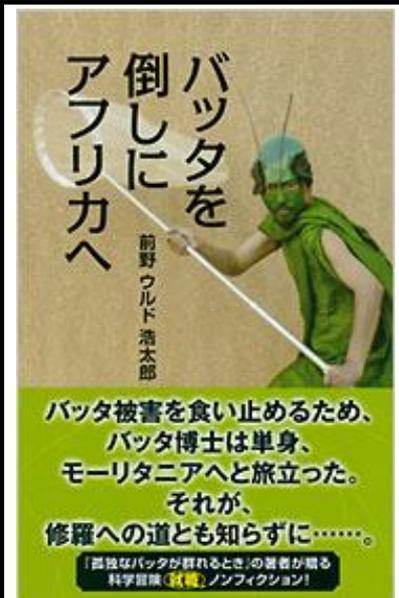
あなたもカバヒコに会いに来てみませんか。

32

バッタを倒しに アフリカへ

前野ウルド浩太郎／著

光文社



『ファール昆虫記』を読んで昆虫学者になろうと心に誓った著者は、子供の頃からの夢「バッタに食べられたい」を叶えるため、昆虫学者として食べていく道を開くために、砂漠の国・西アフリカのモーリタニアへ。

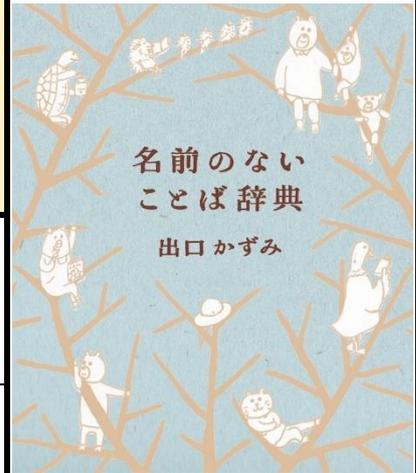
お金もない、力もない、現地語も話せない。やる気だけはある若き研究者が、農作物を食い荒らすサバクトビバッタの研究のため、アフリカでの過酷なフィールドワークを詳細に記録した一冊です。

33

名前のないことば 辞典

出口かずみ／著

遊泳舎



この本では、オノマトペ（ぎおんご擬音語・ぎたいご擬態語）、かんたんし感嘆詞などのうち同じ語が2つつながったことばを「名前のないことば」と呼び、イラストつきでその意味や用法を紹介しています。

自分の気持ちや状態を表すときに「名前のないことば」を使いたくなります。ネガティブな感情も、「へとへと」「しくしく」などを使うと、悩みが軽くなるような、薄まるような、そんな気がします。

日本語の持つ言語表現の豊かさを味わえる一冊です。

34	アーモンド	
ソン・ウォンピョン／著 矢島暁子／訳		
祥伝社		

ユンジュは小さな扁桃腺を持って生まれたために恐怖や怒りを感じることができない。母は他人と違う息子に悩み、感情やリアクションを学習させようと試みる。しかし彼は、母と祖母が通り魔に襲われても何の感情も持てなかった。

そんなある日、一人になってしまった彼は、ゴニと出会う。彼は^{きゅうくつ}窮屈な家庭環境への苦しさから激しい感情を持て余していた。

彼らは互いにぶつかりながらその違いに惹かれていくが、ある日ゴニが行方不明になり……。

35	<p style="text-align: center;">カメの甲羅は あばら骨 ～人体で表す動物図鑑～</p>	
<p style="text-align: center;">川崎 悟司／著</p>		
<p style="text-align: center;">S B クリエイティブ</p>		

まずインパクトのある表紙を見てもらいたい。なんとシュールな造形だろう。しかし、昔カメを持ち上げた時、まさか「あばら骨」をつかんでいたとは思わなかった。

造形は違えど、人間の体に例えて変身させたイラストがわかりやすい。馬は中指1本でそれぞれの脚を支えている。ペンギンはモフモフの羽毛に隠れているが、実は膝を曲げてつま先立ちで歩いている。環境に適応するために長い時間をかけ変化してきた結果だ。

その深い理由に納得。

36

未来をつくる あなたへ

中満泉／著

岩波書店



紛争、核兵器、難民、貧困、ジェンダーなど、世界で起きている課題についてやさしく学べる本です。

筆者は、平和な社会をつくるために世界を駆け回っていらっしゃる国連事務次長なかみつゐみの中満泉さん。大切なのは、様々な課題と向き合い、これからの地球をよりよい社会にするために、勇気をもって一歩踏み出すこと。まずは身近なことから取り組みましようと言っています。

未来の地球をつくる若いみなさんへ、勇気と希望にあふれる中満さんからのメッセージです。

37

むこう岸

安田夏菜／著

講談社



生活保護に後ろめたさを感じながらも、病気の母と幼い妹を一人で背負わなければならない中学生の樹希^{いつき}と、私立の難関中学に入学するも勉強についていけず、公立の中学校に転校した和真^{かずま}。住む世界が違ふと反発しあっていた二人が、相手の苦しみを知ることによって歩み寄り、もがきながらも道を切り拓いていく物語です。

どうにもならないような理不尽な現実も、まずは自分が行動することで変えていく、いけるんだ！と希望を与えてくれる一冊です。

38

さみしい夜には ペンを持って

古賀史健／著
ならの／絵

ポプラ社



あなたは、自分の気持ちをことばにできますか？一見便利な情報ツールでも、ことばによるトラブルは増えています。

さあ、悩み多きタコジローくんと一緒にペンを持って、ヤドカリおじさんに^{しなん}指南してもらいましょう！

おじさんが言うには、書くことで、頭の整理が上手になり、新しく発見できる自分がいるそうです。ちょっとしたコツを教えてくださいましょう。

この本は、きっと君たちにとって、ビタミンのように必要な本になりますよ！

39	<h1>考え方ひとつで人生は変わる</h1>	<p>考え方ひとつで人生は変わる</p> <p>Inamori Kazuo 稲盛和夫</p>
<p>稲盛和夫／著</p>		<p>思いは実現する</p> <p>受験に失敗、結核にかかり、やっとな社できた会社はつぶれかけ…。挫折と苦悩の青春時代を越えて、「京セラ」「KDDI」をつくり、「JAL」の再生をも果たした！ 徳代の名経営者が、仕事と人生で一番大切にすべきことを、未来をになり若い人に熱く語る！</p>  <p>PHP研究所 定価 本体1,300円(税別)</p>
<p>PHP研究所</p>		

「京セラ」や「KDDI」という会社を創り上げた鹿児島出身の稲盛和夫さんは、戦後の厳しい時代から現代まで、力強く生き抜いた方です。

この本の中で「人生の道のりには、エスカレーターのような便利な乗り物ではなく、一步一步自分の足で歩き、自分の力で登っていくしかありません。」とおっしゃっています。

これから高校受験に挑む中学生の皆さんに、ぜひ読んでもらいたい一冊です。困難に立ち向かう勇気をもらえますよ。

40

美術の進路相談

絵の仕事をするために、描き続ける方法

イトウ ハジメ／著

ポプラ社



この本は、絵を描くことが好きな人へ向けた進路相談です。冒頭にある「美術の仕事地図」をたよりに、美術の世界に住む様々な住人たちの仕事をのぞいていきます。

そこには、みなさんがよく知る画家や漫画家はもちろん、研究する人、発掘する人など、「そんな美術の関わり方もあるんだ」と思わせてくれる住人もいます。

進路について考える時、「絵は好きだけど、画家なんて難しいから……。」美術に限らず、そう思う人がほとんどです。

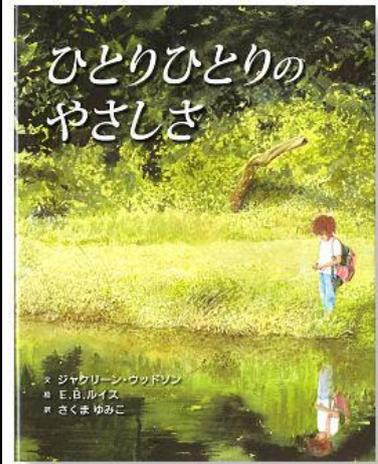
自分の「好き」を諦めて離れてしまう前に、読んでほしい一冊です。

41

ひとりひとりの やさしさ

ジャクリーン・ウッドソン／文
E・B・ルイス／絵
さくまゆみこ／訳

BL出版



貧しい格好の転校生マヤを、クローイたちはクラス中で無視し続けていました。ある日の授業で先生は、桶の水に小石を落とし、広がる波紋を「優しさもこれと同じですよ。」とみんなを諭します。

クローイは間違っていたことに気づきますが、優しく接しようと思ったときには、すでにマヤは転校していました。

美しく繊細に描かれた風景や、丁寧に描かれた子どもたちの表情、心の変化がリアルに伝わってくる絵本です。

42

マスク越しの おはよう

山本悦子／著

講談社



いきなり始まったマスクが当たり前の毎日。それは窮屈で今までの学校生活を変えてしまいました。

コロナ禍で強いられた不自由な生活は、中学生5人のそれぞれの事情にさらなる事情を重ねます。しかし、主人公の一人は言い放ちます。「世界は変わったんだ！今チャンスなんだよ。悔しかったらお前らも変われ！」

大人でも子どもでもない中学生は、爽やかに、生き生きと、たくましく逆境に向き合います。共感間違いなしの一冊です。

43

だれよりも速く走る 義足の研究

遠藤謙／著

偕成社



著者は、高校時代からずっと一緒にバスケットボールをしてきた後輩が、がんで足を失ってしまったことに大きな衝撃を受け、義足の開発に真剣に向き合うようになりました。著者は留学中のたくさんの出会いや経験の中から「義足をつくることは、人間の身体の未来を想像すること」だという思いになりました。

「健足アスリートを超える義足アスリート」。それが実現した時、人間の新しい可能性が生まれる。その実現に向かって挑戦し続ける著者のエネルギーは、あなたの心を動かし、自分自身を想像する機会をくれます。

44

きみの話を 聞かせてくれよ

村上雅郁／著
カシワイ／絵

フレーベル館



親友とけんかした六花^{りっか}、お菓子作りが趣味の
虎之助^{とらのすけ}、不登校気味の妹を心配する正樹^{まさき}、悩め
る生徒会長の羽紗^{うさ}など、中学校が舞台の連作短
編集。

傷つきたくないのに誰かを傷ついたり、傷つきたくないのに傷つく自分をどうにもできなかつたり。自分でもままならない感情が、キーパーソン・黒野^{くろの}さんの「聞かせてくれよ」に寄り添われ、少しずつ解きほぐされていきます。人と人とのつながりをあきらめたくないと思わせてくれる作品です。

45	<p>もうひとつの 屋久島から 世界遺産の森が伝えたいこと</p>	
<p>武田 剛／著</p>		
<p>フレーベル館</p>		

1993年、日本で初めて世界遺産に登録された屋久島。その屋久島を長期で取材するために新聞社をやめて家族で移住した著者は、取材する中で、現在世界遺産になっている森も含め、その大半が国によって切り尽くされる寸前だった事実を知ります。そして、その伐採を止めるために、十年間にわたって反対運動を続け、国の方針をくつがえした人たちに出会います。

たとえ国が相手でも、「自分の意見をしっかりと持ち、時には、それを主張する」ことで守られた屋久島。鹿児島に住む私たちは、知らなければなりません。「もうひとつの屋久島」を。

46	<p style="text-align: center;">ラストで君は 「まさか！」と言う シリーズ</p>	 <p>3分ノンストップ ショートストーリー</p> <p>ラストで君は「まさか！」 時のほさま と言う</p> <p>3分でおもしろいほどサクサク読める どんでん返しのショートストーリー</p>
<p style="text-align: center;">PHP研究所／編</p>		
<p style="text-align: center;">PHP研究所</p>		
<p>長い文章を読むのは苦手だなあと思う人でもサクサク読めるのがこのシリーズです。1話が6～10ページほど3分程度で読めるので、朝読書の時間に1話読み終えることができます。</p> <p>不思議な話、怖い話、考えさせられる話、恋愛の話など、様々なテーマの物語が収録されていて、話の最後には「まさか！」と言いたくなるような結末が待っています。</p> <p>どんな結末になるのか、推理しながら読むのも楽しいですね。</p>		

47	<p>タガヤセ！日本 「農水省の白石さん」が 農業の魅力教えます</p>	
	<p>白石優生／著</p>	
	<p>河出書房新社</p>	

日本初の「国家公務員ユーチューバー」として日本の農林水産業の素晴らしさを世界中に発信している著者は、なんと鹿児島市出身。大学時代に出会った鹿児島の農家さんたちとの交流が農水省を目指すきっかけだったそうです。

世界に誇れる農業技術の素晴らしさ、AIにより変わりゆく農家、そして現在抱えている問題点など、食材豆知識を交えながら、農業の魅力や知ってほしい農水省の役割をたっぴりと紹介しています。

48

山月記

乙女の本棚シリーズ

中島敦／著
ねこ助／イラスト

講談社



「その声は、我が友、李徴^{りちょうし}子ではないか」
袁^{えん}惨^{さん}は旅の途中、林の中で旧友の李徴と再会した。だが博学にして美少年だった李徴は、変わり果てた姿になっていた……。

名作文学の『山月記』が、人気イラストレーター・ねこ助によって、美しく鮮やかに描かれています。少し難しい文章表現もありますが、挿絵の美しさによりさらりとして入ってきます。

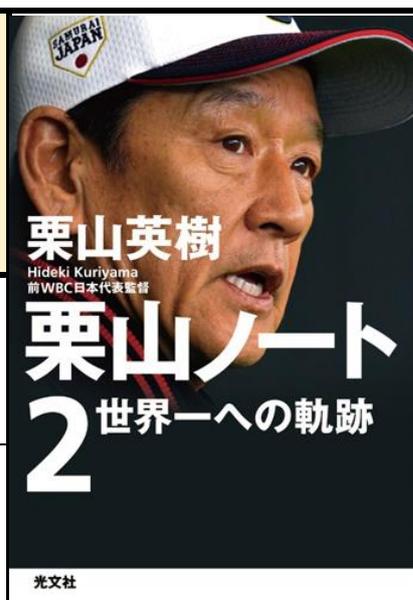
重厚な内容でありながら、画集のように自分の本棚に飾っておきたい、そんな気持ちになる一冊。鹿児島市電子図書館でも、フルカラーで同シリーズ4作品とともに読めます。

49

栗山ノート2 世界一への軌跡

栗山英樹／著

光文社



2023年3月。日本中の注目を集めていたWORLD BASEBALL CLASSIC 2023。侍たちの激闘の舞台裏が、前WBC日本代表監督の栗山英樹氏の目線で語られています。

本書は、小学校の頃から「野球ノート」をつける習慣があった前監督が、本大会中もつけていた「野球ノート」がもとになっています。

また読書家でもあり『論語』『書経』『易経』などの古典にも詳しい前監督の心に、激闘の最中さなか浮かんでいた名言も記されており、心に迷いが生じたときに読んでもらいたい一冊です。

50

宙わたる教室

伊与原新／著

文藝春秋



定時制高校の理科の教師・藤竹ふじたけとの出会いにより、彼が作った「科学部」で、学会発表を目標に実験を始める年齢も事情も異なる四人。

実験結果に一喜一憂し、学ぶことを楽しむ科学部員の姿にわくわくしてきますが、中でも、読み書きが苦手で自分を「不良品」と卑下ひげする岳人が見せる「知」への欲求や、「頑張がんばったことをあきらめるのは、つらい」という探求心に圧倒されます。

自分の中にある「知的好奇心」を大切にしたいと思える作品です。

どくしょつうちょう よほん きろく
 「読書通帳」読んだ本の記録

	しよ 書名	よ 読み お 終わった ひ 日	か ず ★の数
1	成瀬は天下を取りにいく	年 月 日	☆☆☆
2	13歳からの地政学 カイゾクとの地球儀航海	年 月 日	☆☆☆
3	27000冊ガーデン	年 月 日	☆☆☆
4	スクラッチ	年 月 日	☆☆☆
5	みんなで描こう！黒板アート	年 月 日	☆☆☆
6	31センチの約束	年 月 日	☆☆☆
7	約束の猫	年 月 日	☆☆☆
8	地球へのピクニック	年 月 日	☆☆☆
9	かごしま維新伝心	年 月 日	☆☆☆
10	あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。	年 月 日	☆☆☆
11	朔と新	年 月 日	☆☆☆
12	空を見上げてわかること 身近だけど知らない気象予報士	年 月 日	☆☆☆
13	舟を編む	年 月 日	☆☆☆
14	うたうとは 小さないのち ひろいあげ	年 月 日	☆☆☆
15	線は、僕を描く	年 月 日	☆☆☆
16	その気持ち、なんて言う？ —プロに学ぶ感情の伝え方	年 月 日	☆☆☆
17	二番目の悪者	年 月 日	☆☆☆
18	太陽はひとりぼっち	年 月 日	☆☆☆
19	本好きの下剋上	年 月 日	☆☆☆
20	人生に迷ったら知覧に行け 流されずに生きる勇気と覚悟	年 月 日	☆☆☆
21	ラーゲリより愛を込めて	年 月 日	☆☆☆
22	ライオンのおやつ	年 月 日	☆☆☆
23	医学のたまご	年 月 日	☆☆☆
24	奇跡のバックホーム	年 月 日	☆☆☆
25	続 窓ぎわのトットちゃん	年 月 日	☆☆☆

本を読んだら、記録をするようにしましょう！

本のおもしろさを★の数で（☆をぬって）あらわしましょう。



	しよ 書	めい 名	よ 読み お 終 わ つ た 日	★ の 数
26		ぼくたちはまだ出逢っていない	年 月 日	☆☆☆
27		これから大人になる君たちへ 学校では教えてくれない未来を生き抜くヒント	年 月 日	☆☆☆
28		ぼくらは星を見つけた	年 月 日	☆☆☆
29		パンに書かれた言葉	年 月 日	☆☆☆
30		いろいろ	年 月 日	☆☆☆
31		リカバリー・カバヒコ	年 月 日	☆☆☆
32		バッタを倒しにアフリカへ	年 月 日	☆☆☆
33		名前のないことば辞典	年 月 日	☆☆☆
34		アーモンド	年 月 日	☆☆☆
35		カメの甲羅はあばら骨 ～人体で表す動物図鑑～	年 月 日	☆☆☆
36		未来をつくるあなたへ	年 月 日	☆☆☆
37		むこう岸	年 月 日	☆☆☆
38		さみしい夜にはペンを持って	年 月 日	☆☆☆
39		考え方ひとつで人生は変わる	年 月 日	☆☆☆
40		美術の進路相談 絵の仕事をするために、描き続ける方法	年 月 日	☆☆☆
41		ひとりひとりのやさしさ	年 月 日	☆☆☆
42		マスク越しのおはよう	年 月 日	☆☆☆
43		だれよりも速く走る 義足の研究	年 月 日	☆☆☆
44		きみの話を聞かせてくれよ	年 月 日	☆☆☆
45		もうひとつの屋久島から 世界遺産の森が伝えたいこと	年 月 日	☆☆☆
46		ラストで君は「まさか！」と言う シリーズ	年 月 日	☆☆☆
47		タガヤセ！日本「農水省の白石さん」が農業 の魅力教えます	年 月 日	☆☆☆
48		山月記 乙女の本棚シリーズ	年 月 日	☆☆☆
49		栗山ノート2 世界一への軌跡	年 月 日	☆☆☆
50		宙わたる教室	年 月 日	☆☆☆

《原稿執筆》

鹿児島市立中学校の先生方

鹿児島市立中学校学校図書館司書の先生方

鹿児島市立図書館職員

『中学生にすすめる50冊』

令和6年3月発行

鹿児島市立図書館

〒890-0063 鹿児島市鴨池二丁目 31-18

TEL 099-250-8500

FAX 099-250-7157



◆編集・発行

鹿児島市立図書館

〒890-0063 鹿児島市鴨池2丁目31番18号

TEL 099-250-8500

FAX 099-250-7157

HP <http://lib.kagoshima-city.jp/>



市立図書館HP



電子図書館HP

※ このブックガイドの内容は、鹿児島市立図書館ホームページでも紹介しています。